

ハブ情報

発行：ハブ対策推進協議会
〔事務局：名瀬保健所 衛生・環境室〕



7月の咬傷者は奄美大島2名、徳之島3名の合計5名でした。

咬傷場所は、奄美市、宇検村、徳之島町、天城町、伊仙町が各1名です。

その内訳は、伐採中、歩行中、草刈中、就寝中、ハブ取扱中が各1名でした。

台風通過後の後始末をする際は、ハブがトタン板やがれきの下に潜んでいることがあるので注意してください。また、8～9月はハブの卵が孵化する時期です。

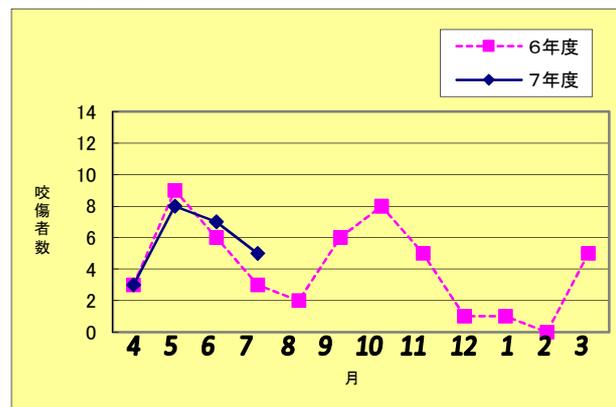
孵化した時は体長40cm程で見つけにくいですが、持っている毒の強さや攻撃する能力は親ハブと変わらないので、十分注意しましょう。

●群島全体のハブ咬傷者数

※ () 内は前年同月比

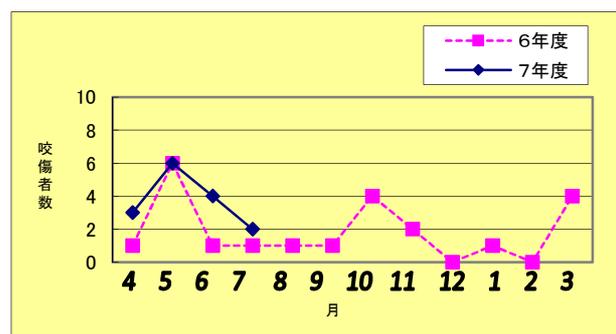
累計は令和7年4月から

地区別	7月分	累計
奄美大島	2 (+ 1)	15 (+ 6)
徳之島	3 (+ 1)	8 (- 4)
計	5 (+ 2)	23 (+ 2)



●奄美大島のハブ咬傷者数

市町村	7月分	累計
奄美市	1 (+ 1)	8 (+ 3)
大和村	0 (± 0)	1 (+ 1)
宇検村	1 (+ 1)	1 (± 0)
瀬戸内町	0 (- 1)	4 (+ 2)
龍郷町	0 (± 0)	1 (± 0)
計	2 (+ 1)	15 (+ 6)



●徳之島のハブ咬傷者数

市町村	7月分	累計
徳之島町	1 (+ 1)	4 (+ 2)
天城町	1 (± 0)	2 (- 3)
伊仙町	1 (± 0)	2 (- 3)
計	3 (+ 1)	8 (- 4)

